



挨拶が飛び交う学校に

1月中旬に児童会の代表委員会が開かれ、11月から1月中旬まで取り組んできた『あいさつリレー』について、振り返りの話合いが行われました。『あいさつリレー』は、毎朝、玄関前で、当番学級が輪番で挨拶運動を行う本校独自の取組です。5年1組から始まり、5年2組→5年3組→



4年1組→・・・→2年3組→1年1組→1年2組→1年3組と回りました。当初は、1巡して終わる計画でしたが、子供たちから「もっと続けたい」という声が上がったようで2巡目も行われました。代表委員会に先立って行われたアンケートでは、①「自分から」挨拶ができましたか？（できた525人、できなかった54人）、②学校内に明るい挨拶が広まったと思いますか？（広まった476人、広まっていない103人）という回答結果が得られました。そして、うれしいことに、子供たちはもっと学校内に明るい挨拶が広まるようにと、あいさつリレーをまた行うことを決めたようです。

本校では、6年生や運営委員会の子供が毎朝挨拶運動をしてくれています。また、毎月第2水曜日には、『愛の一声運動』といって砺波ライオンズクラブの皆様が挨拶運動に来てくださっています。私も玄関前に立って挨拶をしながら子供を迎えるようにしていますが、明らかに4月当初に比べて、今の方が、挨拶をする子供が増えていきますし、挨拶の声も大きくなっています。挨拶の声が聞こえるとやはり気持ちがいいです。もっと挨拶が飛び交う学校になればいいなと願います。欲を言えば、「ありがとう」「ごめんなさい」がちゃんと言える子供になってほしいなと思います。

そういう私ですが、本格的に挨拶ができるようになったのは中学生になって部活の先輩に挨拶をするようになってからだったかもしれません。それまでは「挨拶をなさい」と言われ挨拶が大切なことを頭では分かっていたながら、挨拶をして、もしも挨拶が返ってこなかったり、「誰け？」という顔をされたりしたら嫌だなと臆病になって挨拶ができない私でした。挨拶ができない子供の気持ちも何となく分かります。無理強いするのではなく、挨拶をすることの心地よさが感じられるように声かけをしていきたいと思っています。

こどもの権利条例制定式典に参加しました

2月11日（土）に、井波総合文化センターで行われた『南砺市こどもの権利条例』制定記念式典に参加してきました。式典では、条例の制定に携わった市内の小学生が進行役を務め、市長や教育長をはじめ、地域団体の代表の方が次々にお話をされまし

た。その中で、南砺市 PTA 連絡協議会長が次のようなことを述べられました。印象に残ったので概略を記載します。(メモを取っていたのではないので、一言一言この通りではありませんが、概ねこのような内容であったと思います)

こどもの権利条例の制定にあたり、PTA としても、その普及に努めてきました。その中で、よく言われたのが「大人はこれまでも子供のことを大切に思い育ててきた。今、条例を制定して、これ以上に何をすればよいのか」ということです。私は、「これまで以上に子供の話を聞くこと」が大切だと思います。大人は子供よりも長く生きて、いろんな経験をしています。だから、子供には「悲しい思いをさせたくない」「よい生活を送らせたい」と考え、良かれと思って、子供の話をよく聞かず、先回りして対処してしまいがちです。後になって、子供の思いと違うことが分かり、かえって問題を難しくしてしまうことがあります。子供は子供なりに考えています。子供の話にしっかり耳を傾け、子供を信じて、子供に任せることも大切にしたいと思います。



私たち教員も、肝に銘じておかなければいけないことだと考えさせられたお話でした。本校では、こどもの権利条例については、父母と教師の会主催で11月に教育講演会(子供向け・保護者向け)が行われましたし、私の考えも校長だより第10号(令和4年8月25日付け)でお示しました。

『南砺市こどもの権利条例』は、令和5年4月1日に施行されます。子供たちが、①自分の権利を大切にするとともに、他の人(友達や家族等)の権利も大切にしたいと思えるように、②学校行事や学級活動等に積極的に参画したいと思えるように、こどもの権利条例の考えを学校運営に取り入れていきたいと思えます。人は自分が満たされていないと他の人に優しくできないし、自分に自信がもてないと自主的に何かをしようと動けない存在だと思います。子供たちの心を満たすことと甘やかすことは違いますが、子供たちが自己有用感をもって生活できるように学校と家庭で努めていきましょう。

《お知らせ》

○小学生スポーツ・文化活動PRミーティングについて

2月16日(木)の学習参観の前(13:00~13:30)に、児童玄関前廊下にてスポーツ少年団やスポーツクラブの指導者が来校し活動紹介をされます。小学校段階からスポーツや文化活動をすることで心と体が育ちます。ぜひお聞きください。今回来校されるのは、卓球・バドミントン・剣道・なぎなたの少年団とふくのスポーツクラブの方です。

○手指消毒ジェルの寄附について

井波に工場がある杏林製薬様から、市内小中学校の子供一人に2個ずつ手指消毒ジェルをご寄附いただきました。近日中に持ち帰らせてます。



(校長 曲師政隆)